



水道の普及率

(2015年度末)

1位 東京都、大阪府、沖縄県

100%→

4位	神奈川県	99.9%→
5位	埼玉県、愛知県、兵庫県	99.8%→
8位	京都府	99.7%→
9位	三重県	99.6%→
10位	群馬県、滋賀県	99.5%→
12位	新潟県、香川県	99.4%↔
14位	奈良県	99.3%→
15位	宮城県	99.0%↔
	岡山県	99.0%→
	静岡県	99.0%↔
18位	長野県	98.8%↔
19位	山形県	98.7%↔
	石川県	98.7%↔
21位	長崎県	98.5%↔
22位	北海道	98.3%↔
23位	山梨県	98.2%→
24位	鹿児島県	97.6%↔
	鳥取県	97.6%→
26位	青森県	97.5%↔
27位	和歌山県、宮崎県	97.2%→
29位	徳島県	96.9%↔
30位	島根県	96.8%→
31位	福井県	96.1%→
32位	栃木県、岐阜県	95.7%→
34位	千葉県	95.1%→
35位	佐賀県	95.0%↔
36位	広島県	94.3%↔
37位	福岡県、茨城県	94.0%↔
39位	岩手県	93.7%↔
40位	福島県、高知県	93.2%↔
	山口県	93.2%↔
43位	富山県	93.1%↔
44位	愛媛県	93.0%↔
45位	大分県	91.4%→
46位	秋田県	90.9%→
47位	熊本県	87.3%↔

厚生労働省

熊本県は降水量が多く、雨水を浄化する地層などの自然条件がそろっているため地下水が豊富。そのため、井戸水を使っている地域もあり普及率が低い。